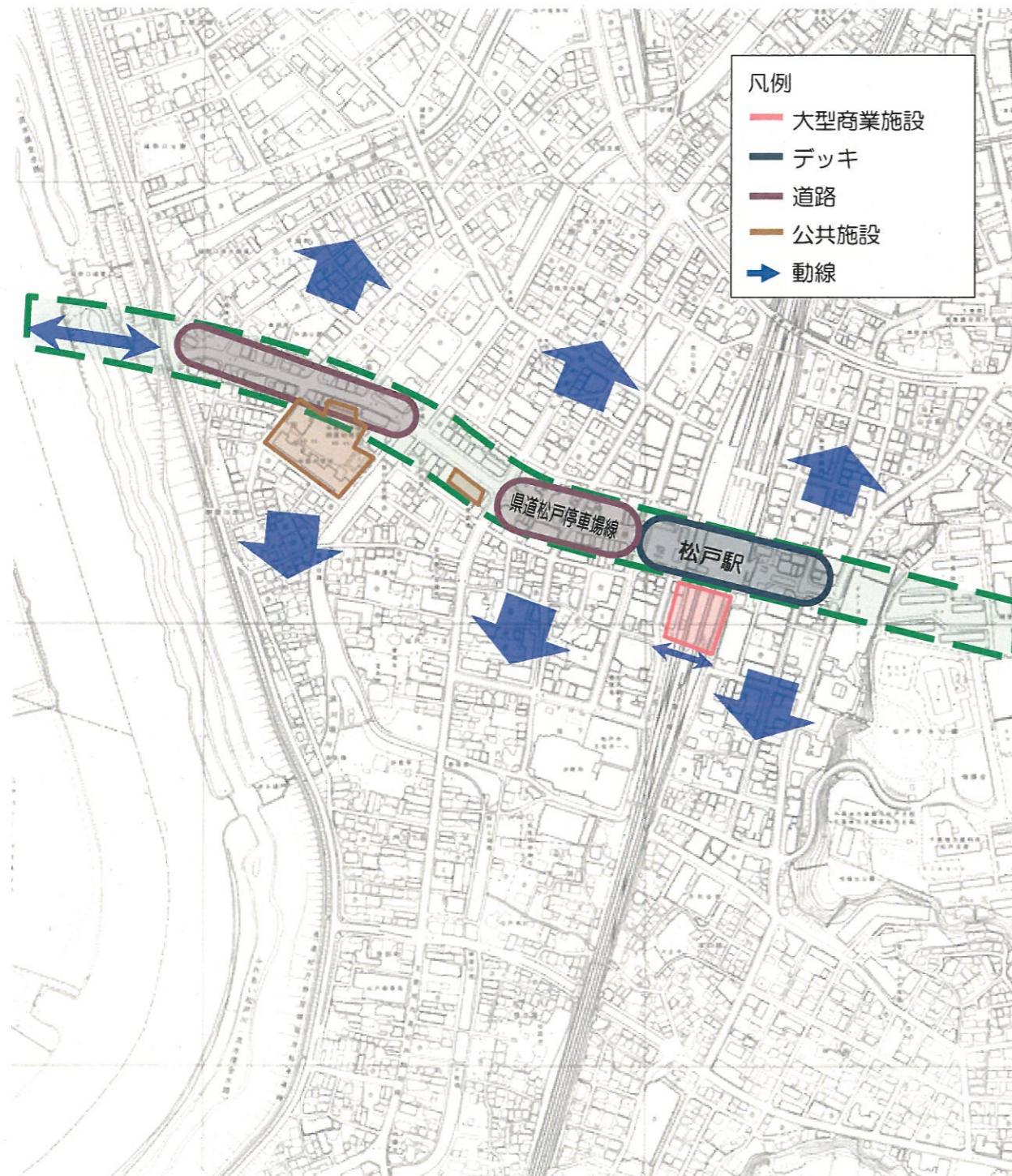


4. シンボル軸

「“にぎわい”と“やすらぎ”をつなぐシンボルロード」

取り組みの方向性

円滑な移動と回遊性の向上を図るとともに、良好な景観形成と沿道の有効利用を行い、台地と水辺をつなぐ地域の中心軸を形成する。



●シンボル軸道路の形成

- ・県道松戸停車場線を再整備し、緑化や案内板の設置などを行う。また、周辺建物の壁面位置後退を誘導するとともに、休憩施設の設置などを行い、快適な歩行者空間を創出する。
- ・親水空間へのアクセスを向上させるため、都市計画道路3. 6. 33のうち坂川から江戸川までの部分について、バリアフリー化を進める。また、長期的には電線類地中化と道路拡幅を目指す。
- ・対岸へのアクセスと防災性の向上を図るため、人道橋を整備する。

●デッキ網の強化

- ・デッキのバリアフリー化を進めるとともに、再開発等に併せて周辺建物への接続や延伸を行う。
- ・東西間の歩行者動線の強化と駅改良による集客効果を周辺地へ波及させるため、周辺建物の更新にあわせ新駅ビル南側に新たな東西自由通路を整備する。

●沿道の街並み形成

- ・周辺と調和し、連続性を持った良好な景観を形成するため、沿道建物の形態・色彩などを誘導する。

考慮すべき事項

- ・松戸駅改良事業
- ・都市計画制度による規制・誘導

参考イメージ



大阪市 曽根崎通り



大阪市 御堂筋



品川区 大崎駅